

事務事業名称	担当部署	最終評価	事務事業見直しプラン	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（8月）	
				見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
地方バス等公共交通維持確保対策補助金	企画政策課	改善	今後も生活バス路線の維持確保を図るため、バス事業者と連携し、バスの利用促進や経営改善、輸送サービスの向上に努めるとともに、関連事業との調整を図り、補助金の縮減を図りたい。	【一部達成】 他事業で実施しているバス事業とは路線や時刻表を調整しており、またICカードを導入するなど、利用促進対策が実施されている。一方利用者の利便性向上のために路線を見直し、結果実走行距離が増えたこと等により経常費用が増大したため、赤字が拡大し補助金額が増加した。今後もさらなる経営効率化や利用促進対策を図るよう、事業者に対し促していきたい。	【一部達成】 補助対象となる4路線は地域住民の公共交通確保のため重要なバス路線であり、平成29年度に利便性向上のため路線の見直しを行った結果、走行距離が長くなり1路線あたりの経常費用が増加している。 なお、他事業で実施しているバス事業とは路線や時刻の調整をしており、またICカードの導入により利用者の利便性向上を図るなど事業者側の利用促進に対する取り組みも実施されているが、燃料費などバス事業者全体での経費が拡大していることもあり、補助金額が増加した。 今後も経営効率化や利用促進対策について、事業者に対し促していきたい。	【一部達成】 利用者の利便性向上を図るために、ICカードの導入など事業者側の利用促進に対する取り組みも実施されているが、経常収益が減少したこともあり、補助金額が増加した。 補助対象となる路線は、地域住民の日常生活に必要不可欠な生活路線であり、利用人数の少ない路線を継続・確保するためにも、今後も経営効率化や路線見直しによる利用促進について、事業者に対し促していきたい。	一部達成	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用客が減少したことに伴って、経常収益が大幅に減少した。 補助対象となる赤字路線が4路線増加して、補助金額が大幅に増加した。 補助対象となる路線は、地域住民の日常生活に必要不可欠な生活路線であり、利用人数の少ない路線を継続・確保するためにも、今後も経営効率化や路線見直しによる利用促進について、事業者に対し促していきたい。

事務事業名称	担当部署	最終評価	事務事業見直しプラン	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（8月）	
				見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
農村地域防災減災事業	農林水産課	現状維持	ため池や農業用施設の日常的な点検や維持管理等について、管理者と連携しながら効果的に実施し、修繕や改修等が必要な施設については、事業主体である兵庫県と調整を図り、早期に事業効果が発現できるよう計画的な整備に努める。また、これまで作成したため池ハザードマップを地域内で再認識する等、地域に応じた減災対策の啓発に努める。	【一部達成】 ため池や農業用施設の点検・維持管理については、ため池管理者と連携しながら効果的に実施している。事業中のため池については、県及び地元関係者と調整を図りながら、事業の円滑な進捗に努めているところである。ため池ハザードマップの周知については、継続して地元集会所に掲示する等啓発に努めた。	【一部達成】 ため池や農業用施設の点検・維持管理については、ため池管理者と連携しながら効果的に実施した。ため池ハザードマップの周知については、2地区で地元集会所に掲示する等啓発に努めた。 今後については、地域に応じた減災対策を推進するため、ため池管理者に対し講習会を行う。	【一部達成】 現在事業中のため池整備等については、事業主体である県と地元関係者との調整を図り、事業が円滑に進捗するよう、努めている。 また、地元のため池に対する防災意識を醸成するため、ため池管理者等を対象に防災パトロールや、ため池保全管理講習会を実施していく。	一部達成	現在事業中のため池整備等については、事業主体である県と地元関係者との調整を図り、事業が円滑に進捗するよう、努めている。 加えて、施設の更新にあたり、地元関係者との情報共有に努めた。 また、地元のため池に対する防災意識を醸成するため、ため池管理者等を対象に防災パトロールや、ため池保全管理講習会を実施していく。